

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	小笠原諸島世界遺産保全管理拠点基本計画等策定費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	自然環境計画課		課長 塚本 瑞天		
会計区分	一般会計		施策名	5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	世界遺産条約第4、5条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	平成23年6月に世界遺産に登録された小笠原諸島については、陸産貝類をはじめとする生物相が生物進化のプロセスを顕著に示していることが世界遺産の価値として認められているが、これらの生物の生息は、侵略的な外来種存在等により脅かされている。登録の際の決議において侵略的な外来種への対策の継続が求められている。これらの対策を進めるためには、資材に付着した外来種の冷凍処理等の必要な措置を施すことのできる施設が必要であり、新たな外来種の侵入を防止するための保全管理の拠点施設として小笠原諸島世界遺産センター(仮称)を設置し、我が国が国際社会に約束した将来にわたる小笠原諸島の世界遺産としての価値の保全を図る。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	上述の目的を果たすために、保全管理の拠点施設として小笠原諸島世界遺産センター(仮称)を整備するための基本計画等を策定する。同拠点は、上述の侵略的な外来種の新たな侵入や拡散を防止するための機能とその効果的な運用に資する機能等を有する施設とする。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	-	7	25	
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	-	-	-	7	25	
	執行額	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	小笠原諸島世界遺産地域の保全管理の推進と世界遺産としての価値の維持を目的とした事業であるため、定量的な成果目標を示すことは困難。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	小笠原諸島世界遺産センター(仮称)を整備するための基本計画等の策定		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	-
単位当たり コスト	-		算出根拠	-				
平成 24 ・ 25 年 度 予 算 内 訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	施設施工旅費	0.04	0.2					
	施設施工庁費	0.06	0.2					
	施設整備費	6.9	24.8					
	計	7	25.2					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産登録地域を適切に保全管理することは締約国の義務である。 ・小笠原諸島の世界遺産としての価値を構成する陸産貝類は侵略的な外来種の影響を受けやすく、価値の保全のために適切な対策を行わない場合には、世界遺産としての価値が損なわれ、危機遺産リストに掲載される恐れがある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産登録地域を適切に保全管理することは締約国の義務である。 ・小笠原諸島の世界遺産としての価値は生物進化に関するものであるが、その価値を構成する陸産貝類は侵略的な外来種の影響を受けやすく、価値の保全のために細心の注意を払わなければならない。 ・このような対策を行わない場合には、世界遺産としての価値が損なわれ、ガラパゴス諸島のように危機遺産リストに掲載される恐れがある。 <p>以上のことから、本事業は、広く国民のニーズがあり、優先度が高く、国が実施すべき事業である。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
-		競争性を確保しつつ、効果的な事業となるように事業を実施すること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-		-	
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新24-031